みどり市立大間々東中学校
学　校　通　信
令和５年１２月１１日　第１８号

東　輝

当事者意識の高まりを感じました

前号でもお伝えしたとおり、市への提出用に人権作文を書くため、校長講話を踏まえた作文の提出は強制しませんでした。しかし、３年生もたくさんの生徒が人権について考えたことを文章にしてくれました。２枚書いたり裏面まで書いたりした生徒もおり、人権のことを自分事として捉えている様子がうかがえました。また、作文を書くことが目的ではなく、これだけ根本的な問題である人権というものに対して、少しでも意識や実践力を高める、ということが本来の目的です。まだまだ成長途中である生徒たちが、人権意識や言動について少しずつでも改善しようとする気持ちを高めてくれたらと思います。

前号同様、今回も提出した４１名分全員の文章を載せたいところですが、紙面の都合上、たった３名の作文しか載せられません。他にも皆さんに読んでもらいたい内容の作文がたくさんありますが、一部の紹介となってしまい申し訳なく思います。現３年生の作文は３年間読み続けていますが、今年は分量的にも内容的にもレベルがとても高くなったと感じます（今号も本人の了承を得て、多少表現を変えたり、途中を要約したりしています）。一過性でないことを期待しています。

■深澤　未玖

校長先生の講話を聞いて、改めて「人権とは何なのか」というのを考えることができた。「上品（じょうぼん）と下品（げぼん）という言葉があるけれど、綺麗な心根をもつ上品と言われる人が増えればもっと世の中は良くなっていくのかもしれない」というのが一番心に残った。心根が綺麗とはどういうものかよくわからなかったけれど、「目には見えない心の奥底が綺麗な人」だということを知り、自分も心根が綺麗で上品と言われるような人になりたいと感じた。

また、世界中にある様々な人権に関する条約などについて習ってから、人権について話を聞くと、とても興味深いなと感じるようになった。２年生で聞いた頃は、まだ「世界人権宣言」やその他の条約などのことは知らなかったけれど、３年になり全部知った上で講話を聞いてみると、とても面白いと思うようになり、興味をもった。人種差別などをなくしていくにはどうしたらいいだろうと考えたときに、直接関わることは簡単ではないけれど、目には見えづらい形だとしても、自分にできることをしていくのが大切だと思った。

■中村　舞

人権について調べる機会が多くなり、知れば知るほど「自分事」として考えるようになりました。自分自身が過去に辛い思いをしたことがあるため、その辛さ、苦しさが今でも心に染みついています。また、母の職業（特別支援の子たちと関わる職業）のお陰で、障がいのある子ともたくさん関わってきました。だからこそ、人権を大切にしたいと思うし、守られる世界になってほしいです。ニュースなどで人権差別、いじめ、障がい者差別…と様々なことを知ることができます。そんな時「他人事」として考えず、「自分事」として考えています。もし、自分の周りにいたら手を差し伸べよう、募金をしよう、私から動こうと強く思います。「人権なんて…」って思う人は、人権というものが何かを知らず、理解していない人かもしれません。

このような人権について考える期間があるってすばらしいことだと思います。私はこれからも「人権」や「差別」「様々な人たちの理解」について知っていきたいです。この世界で何が起こっているのか、どうしたら良い方向に向かうのか、まずは身の回りの人たちから笑顔にしていきたいです。きれい事だけ、口先だけじゃやなくて、言ったことを、思ったことをまず自分から行動に移していきます。

■吉澤　昊

金子みすゞさんの「大漁」という詩を読んで、金子みすゞさんは世の中には光と影の部分があるということを表現したかったのではないかと思いました。「浜は祭りのよう」では「光の部分」、「海の中では何万の鰮のとむらいするだろう」では、「影の部分」が表現されています。

人々の中で、「祭りの中にいる人」が光の部分として見える一方で、「弔いをしている人」を影として見ている人、見えている人はごく少数だと思います。

私は、目には見えないところで苦しい思いをしている人たちの気持ちを考えられる人になりたいと思います。

（裏面に続く）

応援の力に後押しされて

１１月３０日（木）に校内マラソン大会が行われました。各学年通信でも紹介がありましたが、学校全体としての結果一覧を以下に掲載します。

生徒に対しては、走ることについてはもちろんですが、あえて「応援」を意識してほしいと伝えました。人を応援できる人自身が手を抜いて走るとは思えないからです。実際には、昨年・一昨年と比較するのはどうかと思いますが、今回の方が格段に熱のこもった応援の姿が見られ、その影響もあってか、途中脱落者も例年より随分と少ない大会になりました。

早朝マラソンに取り組んだ生徒もたくさんいましたが、本大会の運営に携わってくださったＰＴＡ役員やボランティア、交通指導員の皆様など、ご多忙のところ、生徒の安全確保のためにご協力いただき、たいへんありがとうございました。

２学期は行事が目白押しでしたが、それぞれの行事も無事終えることができました。生徒自身の多忙感もあるのではないかと思いますが、こういった機会が生徒の成長につながります。これからも、行事が終わった後に何が残るかを大切にした取組を行っていきたいと思います。

学年 ＼ 順位等		第１学年		第２学年		第３学年	
		男子	女子	男子	女子	男子	女子
個人順位	1	下山　宗佑	森田　詩叶	佐藤　大輝	前原　杏南	今泉　遥	小野　心春
	2	小林　世那	宮川　至紅	須田　崇太	坂本　有加	岩崎　亮祐	山口　苺々
	3	増田　蓮	小林　愛菜	新木　晴道	髙畑　唯乃	黒田　晃翔	松尾水彩星
	4	倉澤　史樹	小倉　虹奈	稲葉　悠斗	尾池　真奈	坂本　尚也	森田　夏叶
	5	荻原　悠史	長尾　朱莉	金子　蓮	塩野目紗季	杉山　吏玖	松本　梨愛
	6	井藤　春	小林　凜央	田村皇二郎	星野　千尋	大塚　瑛生	荻原　杏奈
	7	塩田　陸斗	吉澤　海	荻野　楓衣	小池　莉麻	関口　瑞生	吉澤　昊
	8	髙橋　哉太	秋葉璃七奈	小林　大悟	大賀　心愛	髙草木健二	周藤　優月
学級対抗優勝		１組		３組		１組	

寄附の紹介

伊勢崎市にあるプロファ設計(株)代表取締役杉山崇様より、市内全校に対して「多々良沼と城沼に生息する魚たち」という図鑑の寄附がありました。本校にも３冊が寄附されましたが、図書室の蔵書として、生徒に活用を促していきたいと思います。たいへんありがとうございました。